



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 芝浦機械株式会社
 コード番号 6104 U R L <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 T E L 03(3509)0444
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	64,493	△26.7	△121	—	△384	—	△888	—
2020年3月期第3四半期	87,978	2.6	2,619	17.4	3,688	△3.8	2,511	△8.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 275百万円 (△90.2%) 2020年3月期第3四半期 2,812百万円 (44.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△36.81	—
2020年3月期第3四半期	104.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	135,566	82,384	60.8
2020年3月期	154,283	87,018	56.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 82,384百万円 2020年3月期 87,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2021年3月期	—	37.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	37.50	199.30

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年3月期の第2四半期末および期末の配当金には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

3. 2020年6月1日に公表いたしました「剰余金の配当（特別配当）に関する決定事項のお知らせ」のとおり、2020年6月30日を基準日として総額2,999百万円（1株当たり124円30銭）の特別配当を実施しており、上表合計には特別配当124円30銭を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	△21.2	△1,400	—	△2,400	—	△2,600	—	△107.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、 除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q:	29,977,106株	2020年3月期	29,977,106株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q:	5,831,330株	2020年3月期	5,841,960株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q:	24,140,501株	2020年3月期3Q:	24,135,325株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2021年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、依然として厳しい状況が続いているものの、経済活動の再開が徐々に進み、回復の兆しが見られました。わが国経済も輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染再拡大に伴い経済活動を制限する動きが世界各地で再び広がっており、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する機械業界につきましては、国内外とも設備投資に対して消極的な姿勢が継続しておりますが、中国や米国など一部の地域では設備投資需要の回復が見られます。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより設備投資に慎重な動きが見られたことから647億6千万円（前年同期比13.3%減）、売上高は644億9千3百万円（前年同期比26.7%減）となりました。損益につきましては、営業損失は1億2千1百万円（前年同期は営業利益26億1千9百万円）、経常損失は3億8千4百万円（前年同期は経常利益36億8千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億8千8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益25億1千1百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「[セグメント情報] II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

②セグメント別の概況

成形機事業 [射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など]

射出成形機におきましては、販売は北米、中国で増加したものの、国内、東南アジア、インドが減少いたしました。受注は北米、中国、インドなどで設備投資の増加により、足元では顕著な回復が見られます。

ダイカストマシンにおきましては、国内外で自動車向けが軟調に推移したため、販売と受注が減少いたしました。

押出成形機におきましては、販売は減少したものの、国内の環境に配慮した新素材用シート・フィルム製造装置が増加いたしました。受注は中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置及び光学用シート・フィルム製造装置が大幅に増加いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は478億2千1百万円（前年同期比4.2%減）、売上高は445億6千5百万円（前年同期比23.7%減）、営業利益は9億1百万円（前年同期比68.9%減）となりました。

工作機械事業 [工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、精密加工機など]

工作機械におきましては、国内外で産業機械向けおよび建設機械向けの販売と受注が減少いたしました。なお、足元では国内、北米、中国などで設備投資に回復が見られます。

精密加工機におきましては、販売は中国、台湾の光学系金型向けが減少いたしました。受注は国内外で光学系金型向けが減少いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は119億5千8百万円（前年同期比34.6%減）、売上高は143億8千5百万円（前年同期比35.9%減）、営業損失は10億1千万円（前年同期は営業利益3億1千9百万円）となりました。

制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

制御機械におきましては、中国の電子デバイス・スマートフォン等の組立自動化設備向けは堅調に推移いたしました。国内の設備投資先送りなどを受けて、販売と受注が減少いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は39億7千万円（前年同期比23.5%減）、売上高は42億3千万円（前年同期比17.9%減）、営業損失は1億2千1百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は10億9百万円（前年同期比24.7%減）、売上高は13億1千1百万円（前年同期比33.2%減）、営業利益は6千3百万円（前年同期は営業損失6億3千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ187億1千7百万円減少し、1,355億6千6百万円となりました。減少の主な内訳は、現金及び預金が126億7千4百万円、受取手形及び売掛金が61億4千7百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ140億8千2百万円減少し、531億8千2百万円となりました。減少の主な内訳は、未払法人税等が71億5千4百万円、支払手形及び買掛金が33億2千7百万円、未払費用が30億1千万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ46億3千4百万円減少し、823億8千4百万円となりました。減少の主な内訳は、その他有価証券評価差額金が10億2百万円増加したものの、利益剰余金が58億2千8百万円減少したこと等によります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は60.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2020年5月27日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,907	35,233
受取手形及び売掛金	36,064	29,917
有価証券	104	1,215
商品及び製品	9,052	7,553
仕掛品	26,877	25,151
原材料及び貯蔵品	67	64
その他	2,340	3,090
貸倒引当金	△49	△39
流動資産合計	122,364	102,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,014	39,171
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,429	△28,793
建物及び構築物（純額）	10,584	10,378
機械装置及び運搬具	24,224	24,386
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,073	△21,900
機械装置及び運搬具（純額）	2,151	2,485
土地	7,049	7,040
リース資産	240	246
減価償却累計額及び減損損失累計額	△150	△141
リース資産（純額）	89	105
建設仮勘定	135	346
その他	7,327	7,162
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,797	△6,674
その他（純額）	529	487
有形固定資産合計	20,541	20,845
無形固定資産		
その他	561	532
無形固定資産合計	561	532
投資その他の資産		
投資有価証券	6,560	7,939
長期貸付金	13	6
繰延税金資産	3,142	2,945
その他	2,149	2,171
貸倒引当金	△1,048	△1,060
投資その他の資産合計	10,816	12,002
固定資産合計	31,918	33,379
資産合計	154,283	135,566

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,279	17,952
短期借入金	10,090	10,590
未払法人税等	7,218	64
未払費用	5,351	2,341
賞与引当金	—	730
製品保証引当金	720	600
前受金	6,403	6,288
その他	1,941	1,600
流動負債合計	53,006	40,169
固定負債		
長期借入金	4,300	3,800
長期末払金	5	5
繰延税金負債	2	0
役員退職慰労引当金	41	55
退職給付に係る負債	9,770	8,867
資産除去債務	52	105
その他	85	178
固定負債合計	14,258	13,012
負債合計	67,264	53,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	77,359	71,531
自己株式	△16,376	△16,346
株主資本合計	85,006	79,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,334	3,336
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	843	855
退職給付に係る調整累計額	△1,165	△1,015
その他の包括利益累計額合計	2,012	3,176
純資産合計	87,018	82,384
負債純資産合計	154,283	135,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	87,978	64,493
売上原価	62,925	47,097
売上総利益	25,053	17,395
販売費及び一般管理費	22,433	17,516
営業利益又は営業損失(△)	2,619	△121
営業外収益		
受取利息	34	41
受取配当金	312	200
受取賃貸料	39	34
持分法による投資利益	706	—
為替差益	114	—
雇用調整助成金	—	491
その他	124	209
営業外収益合計	1,331	977
営業外費用		
支払利息	61	68
商標使用料	93	0
業務委託費用	—	624
為替差損	—	136
その他	108	410
営業外費用合計	263	1,240
経常利益又は経常損失(△)	3,688	△384
特別利益		
固定資産売却益	3	10
特別利益合計	3	10
特別損失		
固定資産処分損	82	63
減損損失	19	—
特別退職金	—	264
特別損失合計	102	328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,589	△701
法人税、住民税及び事業税	695	378
法人税等調整額	382	△191
法人税等合計	1,077	186
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,511	△888
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,511	△888

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,511	△888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	491	1,002
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△309	11
退職給付に係る調整額	95	150
持分法適用会社に対する持分相当額	23	—
その他の包括利益合計	301	1,163
四半期包括利益	2,812	275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,812	275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症（以下「本感染症」といいます。）の感染拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、主な得意先である自動車業界におきましては、一部地域では回復の兆しを見せ始めているものの、国内外とも本格的な回復に至っていないことから、当社グループの事業活動に影響を及ぼしております。また、本感染症拡大の収束時期等を予想することは困難であることから、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定においては、連結財務諸表作成のための入手可能な情報に基づき、当連結会計年度の一定期間に渡り影響が生じるとの一定の仮定のもと、最善の見積りを行っております。

当連結会計年度の第1四半期までは本感染症の影響が第2四半期までに収束するものと想定しておりましたが、足元の受注環境に鑑み、概ね年度末までに底を打ち、これまで通りの需要が見込まれることを前提としております。

なお、今後の状況の変化によって前提を見直した結果、当連結会計年度の連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（2020年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	58,427	22,435	5,151	86,014	1,964	87,978	—	87,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1,714	1,716	535	2,251	(2,251)	—
計	58,427	22,437	6,866	87,730	2,499	90,230	(2,251)	87,978
セグメント利益 又は損失(△)	2,897	319	3	3,220	△637	2,583	36	2,619

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」の区分にて19百万円の固定資産の減損損失を特別損失として計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	44,565	14,385	4,230	63,181	1,311	64,493	—	64,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19	1,160	1,180	313	1,493	(1,493)	—
計	44,565	14,404	5,390	64,361	1,625	65,986	(1,493)	64,493
セグメント利益 又は損失(△)	901	△1,010	△121	△230	63	△166	45	△121

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首に、経営効率及び収益性向上を図るため、カンパニー制の採用を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、産業用ロボット及び電子制御装置事業を従来の「その他」セグメントから「制御機械」セグメントに変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

①受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	49,908	47,821	△2,087	△4.2
工作機械	18,289	11,958	△6,331	△34.6
制御機械	5,188	3,970	△1,218	△23.5
報告セグメント計	73,386	63,751	△9,635	△13.1
その他	1,341	1,009	△332	△24.7
合計	74,728	64,760	△9,968	△13.3

②売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	58,427	44,565	△13,862	△23.7
工作機械	22,435	14,385	△8,050	△35.9
制御機械	5,151	4,230	△921	△17.9
報告セグメント計	86,014	63,181	△22,833	△26.5
その他	1,964	1,311	△653	△33.2
合計	87,978	64,493	△23,485	△26.7

③受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	54,740	52,412	△2,328	△4.3
工作機械	20,083	14,950	△5,133	△25.6
制御機械	3,104	2,354	△750	△24.2
報告セグメント計	77,928	69,717	△8,211	△10.5
その他	1,118	310	△808	△72.2
合計	79,046	70,028	△9,018	△11.4

- (注) 1. 上記金額に消費税等は、含まれておりません。
2. セグメント間取引については、相殺消去しております。